

バイオ系のキャリアデザイン

就職支援 **OG OB** インタビュー編

Interview ①

大阪府立大学大学院生命環境科学研究科 (助教)

中澤 昌美



出身大学・卒業年度：大阪府立大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程 退学（2001年9月）
 博士論文タイトル：ユーグレナの特異なミトコンドリア炭素代謝系酵素の生化学的解析

「現在の仕事について」

◆担当職務

大阪府立大学の教員として、教育・研究の日々です。

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容。

自らの出身ラボで博士課程途中で助手に採用していただきました。採用半年後、諸事情から大阪府庁に併任勤務。1年間、月曜日から水曜日を行政職の公務員、残りの日を教員として過ごしました。その後、恩師の定年退官と同時に論文博士取得。今後どのようにユーグレナ研究資金を得れば良いのだろう……と途方に暮れそうなときに、幸運にもJST さきがけの「藻類・水圏微生物の機能解明と制御によるバイオエネルギー創成のための基盤技術の創出」領域の2期生として採択していただき、思い切り研究させていただきました。現在は同領域CRESTで共同研究者をさせていただいています。

◆そこでのやりがい

学生の皆さんと楽しんだり、苦しんだりしながら研究を進めていくことに一番やりがいを感じます。自分が思い描いた仮説に沿ったデータが出た時も良いのですが、それ以上に仮説を否定するデータや、実験上の偶然から出た不思議なデータを基に、新たな研究を展開する醍醐味はアカデミアならではだと思います。

◆現在の会社・組織（アカデミアを含む）の魅力

学生さんの成長を身近に感じられること、常に新たな人材と触れ合えること、さまざまな立場の方と仕事ができること。

◆現在の就職を決めた理由

自分が面白いと思ったこと、不思議だと思ったことを、自らの手で明らかにしていくことができるのは、アカデミアしかない！と博士課程進学の際に決断しました。

◆将来設計（描けるキャリアパス）

アカデミアで研究者として過ごしていきたいです。

◆挑戦したいと思っていること

海外の研究者とのつながりを広げていきたいです。

◆社会人として一番感動したこと

自分の研究成果をプレスリリースした際に、卒業生からたくさんの温かいメッセージを頂いたことです。卒業後もラボのことを気にかけてくれていたことや、素直に成果を喜んでくれたことがとても嬉しく、感動しました。

◆社会人として一番困難だったこと&どう乗り越えましたか

辛いことはすぐ忘れる性格で……。トラブルはできるだけ小さいうちに素早く解決するよう意識しています。

◆仕事のプロになるコツ

人にも物事にもできる限り真摯に向き合い続けること、でしょうか。

◆博士力、どこで発揮していますか？

分野の違う研究に対しても、コンセプトの重要さや面白さを感じることでできる能力につながっていると思います。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

自分のやりたいことがそのまま仕事になったので、あまり考えたことがありませんでした。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

やりたいことをやって、お金を頂くのは、とても幸せなことだと感じています。

◆ワークライフバランスで工夫していること

家族に迷惑をかけっぱなしで、バランスを取れていない現状です。あえて言うならば、感謝の言葉を口に出すことを常に心がけています。

◆現在の夢

まだ子供はいませんが、将来的には子育てしながらしっかり仕事もする、ということのを是非実現したいです。

◆将来の展望

その場その場でできることに対して前向きで居続けられ、おのずと道が拓けるのではないかと考えています。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること
語学や歴史の勉強。海外の方と話す際、知識不足を感じ

ることが多いので。

◆その他なんでも、後輩に伝えたいこと

何ごともしっかり向き合っていれば、そこから学ぶことは必ずあるはずです。日々の生活の中にたくさん潜んでいるチャンスや「偶然」をモノにするために、それらを拾い上げられる眼や行動力を養ってください。

連絡先 E-mail: mami@biochem.osakafu-u.ac.jp

Interview ②

国立研究開発法人 理化学研究所 (副チームリーダー)

白井 智量



出身大学・卒業年度：大阪大学工学研究科応用生物工学専攻 2007年3月 博士学位取得
博士論文タイトル：コリネ型細菌のグルタミン酸生産における代謝解析に関する研究

「現在の仕事について」

◆担当職務

- ・有用化合物を生合成する細胞内代謝設計技術の開発
- ・人工代謝経路を創生する技術の開発

◆現在までのキャリアパスとその配属での仕事内容

2007年1月～2008年3月

財団法人地球環境産業技術研究機構 (RITE) にて、研究員として着任。RITE 菌を使った化学品生産において、代謝解析の研究に携わる。

2008年5月～2012年4月

三井化学株式会社入社。イソプロピルアルコールを生産する大腸菌の研究開発に携わる。

2012年5月～現在

国立研究開発法人理化学研究所にて、有用化合物を生合成できる人工代謝経路を設計・創生すべく技術開発を行っている。

◆そこでのやりがい

これまでの職場すべてにおいて、チームを組んで一つの目標に向かって仕事に取り組んでいることにやりがいを感じています。

◆現在の会社・組織 (アカデミアを含む) の魅力

研究生活を強力に推進するために、周りの人々のサポートがきわめて充実していること。アイデアを即行動に移

しやすいこと。

◆現在の就職を決めた理由

自分のやりたいことを実践できると思ったためです。

◆将来設計 (描けるキャリアパス)

現在、集中して取り組んでいることが、将来に芽が出ると最高です。

◆挑戦したいと思っていること

結構、毎日が挑戦の連続かも、と思っています。

◆社会人として一番感動したこと

チームで目標に向かって進み、成果を出せたこと。

◆社会人として一番困難だったこと & どう乗り越えましたか

研究がまったく上手くいかないこと。でもこれは当然のことなので、困難だったことではないかもしれません。自分は必ず乗り越えるという強い意志を持つことと、現状 (出ているデータ) について、時を変え、場所を変え、冷静に見つめ直すことです。

◆仕事のプロになるコツ

まだまだ仕事のプロにはなれていません。自分の置かれている状況や周りを見て、自分がどう動けば『他人にはできないこと』になるのかを考え、行動し続けることではないでしょうか。

◆博士力、どこで発揮していますか？

他人と話す時です。特に外国人と話す時。

「人生について」

◆何のために働くのですか？

自分の思いを実現するためです。それが将来、社会のためになればと思っています。

◆ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

あまり「稼いでいる」という認識がありません。「投資してもらっている」という認識です。

◆ワークライフバランスで工夫していること

仕事や研究について考えることと、プライベートを切り離すことがあまりありません。ただ、この日は休もうと決めたときは、PCもスマホも一切見ません。上司や先生からの電話にも出ません(笑)。集中して全力で遊びます。

◆現在の夢

人工代謝経路の実現

◆将来の展望

今取り組んでいる技術開発が、さまざまな分野の方々に利用されるようになることが目標です。

「後輩へ」

◆学生時代にやっておいたらよかったと思えること
キリがないので考えないことにしています。もし、今思い浮かぶことを学生時代にやっていたら、学生時代に実際にやっていたことのいくつかができなくなっているはずなので。強いて言うなら、読書です。

連絡先 E-mail: tomokazu.shirai@riken.jp